

ごみの分別が 必要な理由

一般のご家庭では日常生活の中で、必ず「ごみ」が出てきます。その「ごみ」は、燃やして処理するもの、埋め立てて処理するもの、そして資源ごみのようにリサイクルされるものがあります。

「ごみ」を燃やして処分することで懸念されていたダイオキシンの問題は、ほぼ解消されていますが、二酸化炭素の排出により地球の温暖化等が深刻化するなど環境へのダメージは少なからず存在します。埋め立て処分にも様々な問題があります。

このような「ごみ」に関する問題を解消するには、「ごみをゼロにする」必要がありますが、日常生活の中で必ず排出される「ごみ」をゼロにすることは現実的に難しいことです。

しかし、「資源ごみ」のように一旦はごみとして排出されてもリサイクルにより資源として復活させることは、ごみをゼロにすることと同じです。

小諸市では、燃やすごみや埋め立てごみを少なくし、できる限り「資源ごみ」になるように細かい分別をお願いしています。



【カップラーメン紙製】

燃やすごみ

容器に巻き付いているラベルが「紙」であれば、ラベルは資源（古紙類）



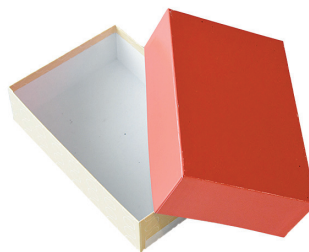
【発泡スチロール】

資源（プラ容器）



【封筒・チラシ】

資源（古紙類）



【お菓子の空き箱】

資源（古紙類）



【紙袋】

資源（古紙類）